

授業計画（シラバス）

氏名 **別府 正志**

授業科目の名称	中医学・東洋医学		
配当年次	1年次	配当学期	前期
年間開講数	1回	単位数	2単位
必修・選択の別	必修	授業の方法	講義 実習
<p>授業形態：講義 目標と授業内容：本講義は、東洋医学の本質的な理解をめざします。東洋医学は西洋医学とは根本的に異なる医学体系を持っています。正しく運用するためには東洋医学の基礎をなしている概念を理解しなければなりません。そこで、陰陽・五行といった古代中国の哲学から解説を行います。東洋医学は現在は中国、日本、韓国、北朝鮮、台湾、ベトナムなどで実践されています。WHO にも記載され、現在世界的な広がりを見せています。いずれも古代中国を源流としていますが、各国によって独自の進化を遂げています。本講義では中国で系統的に行われている中医学の講義を参考にカリキュラムを作成していますが、日本独自の漢方とも矛盾しない内容となっています。中医学の講義は基礎理論、診断学、薬学、方剤学、臨床各科で構成されていますが、本学の講義では基礎理論を中心に、診断学、薬学総論、方剤学総論などに触れていきます。この講義を修了しても東洋医学による診断・治療ができるようになるわけではありません。まずは東洋医学というものが存在し、それらが保険にも認められている診療で、実際に有効であるということを理解してください。</p>			
学習評価：試験			
第1回 中医基礎理論1 緒論：中医学の特徴、特に弁証論治			
第2回 中医基礎理論2 陰陽五行論			
第3回 中医基礎理論3 蔵象1			
第4回 中医基礎理論4 蔵象2			
第5回 中医基礎理論5 蔵象3			
第6回 中医基礎理論6 気血津液			
第7回 中医基礎理論7 経絡1			
第8回 中医基礎理論8 経絡2			
第9回 中医基礎理論9 病因1			
第10回 中医基礎理論10 病因2			
第11回 中医基礎理論11 病機			
第12回 中医基礎理論12 予防と治療の原則1			
第13回 中医基礎理論13 予防と治療の原則2			
第14回 中薬学総論・方剤学総論			
第15回 まとめ・演習			

参考図書